

## 2017年 Cx 事例紹介シンポジウム in 関西

### 2. 開催目的・主旨説明

BSCA では、約 3 年におよぶ改訂 WG の作業を経て新しい Cx マニュアルを刊行しました。本シンポジウムでは、現在この新マニュアルに準拠した形で進めている先導的な Cx プロジェクト二件と ESCO 事業に Cx のプロセス技術を適用した事例という三件の事例発表を行います。BSCA が受託した先導的プロジェクト二件は、一つが新築建物の Cx、もう一つは既存建物の Cx の事例で、ともに BSCA がいうプロセスに沿った Cx をどのように行うべきかを示すものです。また、ESCO の事例は、ESCO 提案にも Cx の導入が有効であることを実施例として紹介します。事例発表後には、今後の Cx のビジネス展開についてのディスカッションも予定しており、Cx 技術者・研究者および自治体や企業の省エネルギー担当者の方々にとって参考になるシンポジウムです。多数ご参加頂ければ幸いです。

#### 開催日時

2017年3月17日(金)、13:00～17:30(受付 12:30～)

#### 開催場所

京都大学 百周年時計台記念館 国際交流ホール I (京都市左京区吉田本町)

#### 定員

100名(先着順)

#### 参加費

会員 4000円、非会員 6000円、学生:1000円

\* 学生は、会員、非会員にかかわらず一律1000円です。

#### 申込締切日

2017年3月13日(月)

#### 主催

NPO 法人建築設備コミッショニング協会(BSCA)

#### 協賛

(公社)空気調和・衛生工学会 (一社)日本建築学会(予定)、(一社)建築設備技術者協会、(一社)建築設備総合協会 (一財)ヒートポンプ・蓄熱センター (一社)日本ビルディング協会連合会 (一社)ESCO・エネルギーマネジメント推進協議会 (一社)関西 ESCO 協会、建築エネルギー懇話会

#### 建築 CPD 制度認定対象プログラムとしての申請予定

#### プログラム案を記載

【プログラム】 司会: アレフネット・松下直幹

時刻	時間	目次
12:30～12:55	25分	受付
13:00～13:05	5分	趣旨説明 吉田治典
13:05～13:55	50分	既存 Cx 事例 「京都大学 iPS 細胞研究所 ESCO 事業のコミッショニング」 1) 京大の ESCO 事業について(仮題) (15分) 京都大学吉田地区 ESCO 事業審査委員会委員長 塩路昌宏 (京都大学・エネルギー科学研究科長) 2) コミッショニングの提案内容と成果(仮題) (35分) ESCO 事業者 BACA_CxPE 畑中稔臣 (大阪ガス)
13:55～14:45	50分	既存 Cx 事例 「沖縄科学技術大学院大学(OIST)のコミッショニング」 1) Cx 業務発注の背景・目的 (10分) Cx 発注者 日高靖晃 (沖縄科学技術大学院大学) 2) Cx 業務内容と発見した課題の概要(10分)

		<p>CMT BSCA_CxPE 岡 敦郎 (森村設計)</p> <p>3) データ処理業務と課題の詳細説明 (20分) データ処理業務担当 BSCA_CxTE 西 勇樹 (アレフネット)</p> <p>4) まとめ 既存 Cx を有効に行うためのポイント (10分) CMT BSCA_CxPE 岡 敦郎 (森村設計)</p>
14:45～14:55	10分	休憩
14:55～16:50	115分	<p>新築 Cx 事例 「京都駅ビル 熱源・空調改修工事 のコミッショニング」</p> <p>1) プロジェクトの概要 (15分) CMT BSCA_CxPE 吉田治典 (京都大学名誉教授、BSCA 理事長)</p> <p>2) 発注者にとってのコミッショニング(15分) Cx 発注者 高浦敬之 (京都駅ビル開発)2)</p> <p>3) 設計・監理業務にとってのコミッショニング (15分) 設計・監理者 副島正成 (日建設計)</p> <p>4) 施工者にとってのコミッショニング (15分) 施工者 BSCA_CxTE 山口淳志 (高砂熱学工業) -- (休憩:10分) --</p> <p>5) コミッショニング管理チームが機能性能確認フェーズで果たした役割 (45分) ～ 機能性能試験と適正化業務の成果 ～</p> <p>4)-1 冷熱源搬送システム(15分) CMT BSCA_CxTE 松下直幹 (アレフネット)</p> <p>4)-2 温熱源システム(15分) CMT BSCA_CxPE 西山満 (日本生命)</p> <p>4)-3) 冷却塔の構造改善と水質管理(15分) CMT BSCA_CxTE 山本雄二 (JR 東日本ビルテック)</p>
16:50～16:55	5分	休憩・パネルディスカッション準備
16:55～17:25	30分	パネルディスカッション コーディネータ 吉田治典 (前出)

## 技術交流会

開催予定 詳細は後日掲載